

令和5年度第1回基幹相談支援センター及び

主任相談支援専門員連絡会 議事録

- ・ 日 時：令和5年10月20日（金）13時30分～16時30分
- ・ 会 場：職員キャリア開発支援センター 研修ホール
- ・ 出席者：110名

1 県からのお知らせ

(1) 「当事者目線の障害福祉推進条例に基づく基本計画」について

障害福祉課企画グループ 安田グループリーダー

令和5年4月、県では、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる

社会を目指して～」を施行し、条例に基づく基本計画を策定している。現在の素案に

ついで意見等を求めるため、パブリックコメントを実施していることを共有した。

(2) 神奈川県版意思決定支援ガイドラインの策定について

共生推進本部室当事者目線障害福祉グループ 松浦副主幹

「意思決定支援の推進」について、上記条例の10条にも盛り込まれており、努力

義務という形ではあるが、県、そして、相談支援事業者の責務としての規定がされて

いるため、意思決定支援の考え方を広げていきたいと考えている。

2 基調講演 「相談支援従事者初任者研修及び現任研修におけるOJTのあり方について」

(1) 講師・進行 神奈川県障害者自立支援協議会研修企画部会 座長 菊本 圭一 様

長野県上小圏域障害者総合支援センター 所長 橋詰 正 様

(2) 内容

かつては全国に5,000人弱だった相談支援従事者が、現在は26,028人まで増えてきていて、厚生労働省の推計を超えているが、今でもセルフプランが高い地域があり、追いついていない状況にあるが、赤字といわれる相談支援事業に特化して、正規職員を3名で始めた事業所が5年間で5名体制となって、しっかりと経営できている団体があるなど、制度とともに体制についてもめまぐるしく変化している状況がある。考える中で、「相談支援事業の実務の変化に対応できているか」「相談支援専門員に求められる価値と専門性の向上を追求しているか」「共生社会の実現における相談支援専門員の役割と今後の展望をもって相談支援体制を考えているか」という3つの柱を軸として菊本様、橋詰様より問題提起を行った。

3 グループワーク 「OJTにおける必要な視点・課題について」

(1) 講師・進行 神奈川県障害者自立支援協議会研修企画部 副座長 吉田 展章 様

(2) 内容

菊本様、橋詰様の基調講演を受けて、自身の事業所におけるOJTの体制や、実施状況を振り返り、基幹相談支援センターの職員として、主任相談支援専門員として持っている課題をグループで共有し、意見交換を行った。

4 まとめ

基調講演では、全国的にも先進的な取り組みの実践報告ということもあり、受講者がそれぞれの地域の実践状況と比較することで課題等に気づくことができ、今後の業務に対するモチベーションへと繋がったとの声を多くいただき、非常に充実したものとなった。しかしながら、内容のボリュームが多かったことから、予定時間を大幅に超過してしまったことで、グループワークの時間が削られてしまい、もっと各地域の話を知りたいとの意見が

寄せられていた。受講生のアンケートでは、終日通しての開催や、講演とグループワークの日を分けた開催などの提案もあり、今後の開催に向けて検討を行っていく必要を感じた。

また、今回より、基幹相談支援センターの職員に加えて、主任相談支援専門員も受講

対象としたが、現在の業務の方向性について振り返れたことや、グループワークを通じて横のつながりが構築できたこともあり、参加できてよかったとの声があったため、今後も地域の体制整備の担い手の中心となる主任相談支援専門員の参加についても継続できたらと考える。

引き続き、県内の状況に合わせて、地域の体制づくりをテーマとした連絡会を開催していきたい。

5 その他

(1) 令和5年度新規開設基幹相談支援センターの紹介

- ・海老名市（令和5年6月開設） 基幹相談支援センター未来
- ・茅ヶ崎市（令和5年10月開設） ちがさき基幹相談支援センターNalu（ナル）
- ・平塚市（令和6年1月予定） 平塚市が直営を予定。

(2) アンケート（別紙）「アンケート集計」を参照

6 次回開催 令和6年2月頃開催予定

けっか アンケート結果

1 基調講演について

そうだんしえんじゆうじしやしよにんしゃけんしゆうおよ
相談支援従事者初任者研修及び

げんにんけんしゆう あ かた
現任研修におけるOJTの在り方に

けんしゆうきかくぶかいざちよう
ついて、研修企画部会座長の

きくもとさま げんじよう もんだい
菊本様から現状についての問題

ていきご ながのけんじようしyouけんいきしyouがいしや
提起後、長野県上小圏域障害者

そうごうしえん しyouちyou はしづめさま
総合支援センター所長の橋詰様よ

ながのけん じっせん まじ はな
り長野県での実践を交えてお話しを

しゆにんそうだんしえんせんもんいん
いただいた。主任相談支援専門員と

なつたばかりで、じんざいいくせい にな て
なったばかりで、人材育成の担い手

じっせんきかん みじか ないよう むずか こえ いちぶ やく かた まんぞく
としての実践期間の短さから内容が難しかったとの声も一部あったが、約77%の方から満足

かいとうけつか やくはんすう かた こうえんじかん みじか かいとう
いただけたとの回答結果であった。また、約半数の方より、講演時間が短かったと回答されて

くわ はな うかが おお こえ
おり、「もっと詳しく話しを伺いたかった。」と多くの声をいただいた。

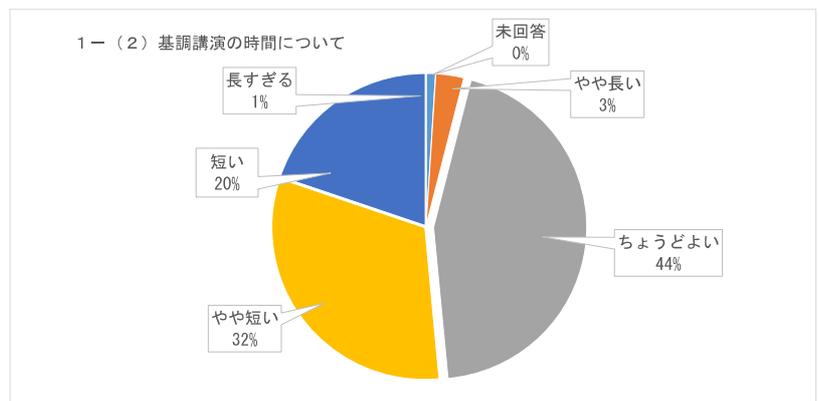
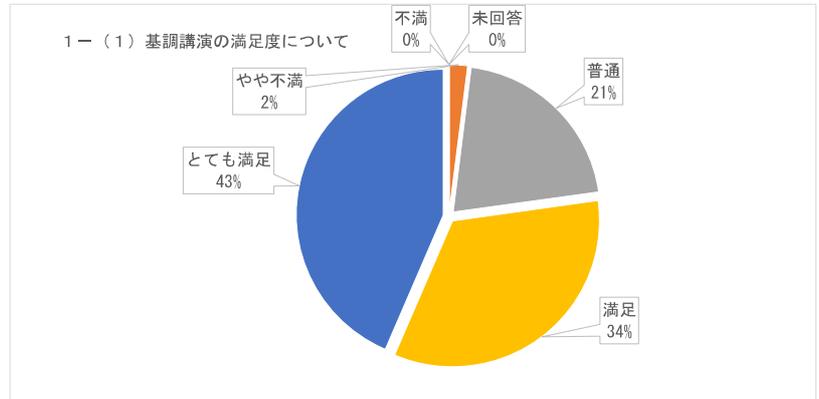
じゆうきじゆつ ぼっすい 【自由記述】(抜粋)

ひろ じばん かん
・GSV、OJTを広げるための地盤がまだできていないのが感じられた。

しゆにんそうだんしえんせんもんいん じゆうぶんりかい していそうだんしえんじぎようしよ じぎよう あんてい
・主任相談緯線専門員のやるべきことは十分理解できたが、指定相談支援事業所の事業が安定

つうじようぎようむいがい かぎ かん
していないので、通常業務以外でできることは限られていると感じた。

きかんそうだんしえん た あ じちたいんたい うんえい むずか
・基幹相談支援センターを立ち上げているが、自治体単体では、なかなか運営の難しさがある



ため、^{けんいきなど}圏域等、^{うんよう}運用の幅を^{はば}広げていき、よりよい^{うんえい}運営について^{かんが}考えていかなければならない
と^{かん}感じた。

・^{ほうていけんしゅう}法定研修（^{しょにん}初任・^{げんにん}現任）と^{じっしゅう}実習との^{れんどうせい}連動性について^{あらた}改めて^{かだい}課題が^み見え、^{しゅにんそうだんいん}主任相談員として、^{ちいき}地域と^{れんけい}連携して^と取り組んで^くいけたらと思^{おも}った。

・^{きかん}基幹（^{しゅにん}主任）と^{していとくてい}指定特定の^{しんらいかんけい}信頼関係が^{じゅうよう}重要になると^{おも}思えた。

・^{いま}今までは、^{じっしゅう}インターバル^う実習の^い受け入れを^{いたく}ほぼ^{そうだんしえんじぎょうしょ}委託も^{まか}相談支援事業所も^う任せていたが、^う受け入れ^{たいせい}態勢を^{じぜん}事前に^{つく}しっかり^{ちいき}作っておくことが^{ひつよう}地域づくりに^{きづ}必要だと^{おも}気付くことができた。

・^{おこな}OJTを行う^{うえ}上で^{じぶんじしん}自分自身も^{まな}学び^{つづ}続ける^{しせい}姿勢が^{だいじ}大事だと^{あらた}改めて^{かん}感じた。^{ちいき}地域の実情に^{じつじょう}応じた^{おも}体制作りをして^{たいせいづく}いきたいと思^{おも}う。

・^{せつきよくてき}GSVについて^と積極的に^く取り組む^{ひつよう}必要があると^{つねづねかん}常々^{でき}感じている。^ふ出来、^{でき}不出来に^{とら}囚われずに^{おも}チャレンジと^{くふう}工夫を^{くわ}加えて^{ちいき}地域に^{すす}マッチしたものを^{おも}進めて^{おも}いきたいと思^{おも}った。

・^{げんじょう}現状^{でき}出来ていないことの^き気づきがあり、^{こんご}今後、^{おも}やりたいと思^{おも}えることがわかった。

・^{じぶん}自分の^{ちいき}地域で^と取り組んでいること、^{こんごと}今後^く取り組ま^{せんめい}なければならないことが^{せんめい}鮮明になり、^{ゆういぎ}有意義な^{じかん}時間だった。

2 グループワークについて

^{きちょうこうえん}基調講演の内容^{ないようもと}元に、^{さんかしゃかん}参加者間で「^{きかんそうだんしえん}基幹相談支援センターとして」「^{しゅにんそうだんしえんせんもんいん}主任相談支援専門員として」それぞれの^{ちいき}地域で^{かだい}課題とな^{こんご}っていること、^{こんご}今後^{とりく}進めて^{ほうこうせいなど}いきたい^{おも}取組みの^{ほうこうせいなど}方向性等について^{きょうゆう}共有^{おこな}を行い、^{こんご}今後の^あOJTの^{かた}在り方について^{かんが}考えた。ホールでの^{じっし}グループワークの実施だったため、^{はな}話しにくさがあり、^{かいじょうめん}会場の^{かだい}課題は^{かく}あったものの、^{かく}各グループも^{かつぱつ}活発に^{いけんこうかん}意見交換されて^{はな}いて、「もっと^{はな}話した^{みじか}かった。」「^{かん}短く^{こえ}感じた。」という^{おお}声が多く、^{やく}約7割の方が「^{わり}短い」「^{かた}やや^{みじか}短い」と^{みじか}回答^{かいとう}されていた。中には「^{なか}グループワークだけの^{かい}回^{つく}を作っ^{おも}ては^{おも}どうだろうか」という

意見もあり、各地域の課題や、

取り組みについての関心の高さが伺

われ、今後の開催の際に活かして
いきたい。

【自由記述】(抜粋)

それぞれの立場でいろいろな

課題の話をする事ができ、

参考になった。みなさんの頑張

っている話が聴けて元気になっ
た。

自治体による違いを知り、たくさんのヒントを得ることができた。

時間が短く感じた。基幹、特定、行政の構成メンバーのグループで。同じ相談支援従事者
でも立場や役割の違いがあると感じた。

行政の違いはあっても、同じ方向を向いているいろいろ考えるよききっかけとなった。

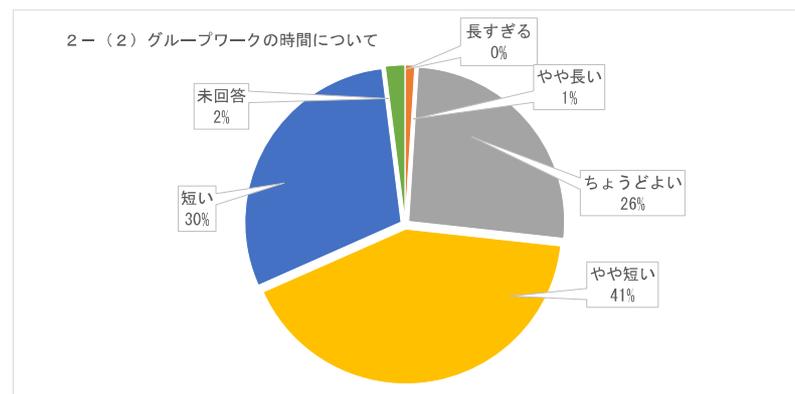
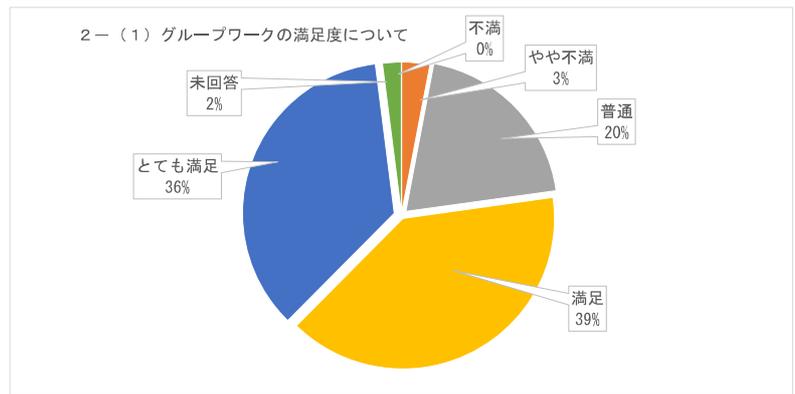
県と政令指定都市で進め方が異なるので、今後、基幹相談支援センターと主任相談支援

専門員の在り方についてきちんと示して欲しいと感じた。

全員の話しを十分に聞けなかったため、もう少し時間があればよかった。

自分の地域の基幹相談支援センターでは、計画相談の実務経験者がいない(初任者も1人の
み)のため、計画相談を行っている方たちとの話しに温度差があったように感じるが、その
差を今後の課題としたいと感じた。

具体的な情報交換の場となったが、そこで時間となってしまったため、今後の方針のよう
なところまで話せる場となったら嬉しい。



- ・ GSV の手前てまえのようなものを実践じっせんしているとの意見いけんが多く、あと1歩おほ専門性ほ せんもんせいのある GSV を実施じっしするための研鑽けんざんが自分自身じぶんじしんも必要ひつようだと感じたかん。
- ・ ざっくばらんにお話しはなでき、楽しく有益たの ゆうえきで、驚おどろくことばかりだった。

3 今後こんごあつか扱ほって欲しいテーマについて【自由記述じゆうきじゆつ】

- ・ 人材育成じんざいいくせいについて
- ・ 自立支援協議会じりつしえんきょうぎかいにおけるき基幹相談支援センターきかんそうだんしえんの役割やくわりについて
- ・ 基幹相談支援センターきかんそうだんしえんと相談支援事業所そうだんしえんじぎょうしょの連携れんけいについて
- ・ 指定一般していつぱんと指定特定していとくていの役割分担やくわりぶんたんについて
- ・ ケースの引継ぎひきつの実践じっせんについて
- ・ 主任相談支援専門員しゆにんそうだんしえんせんもんいんの活動かつどうの実践報告じっせんほうこく
- ・ 自立支援協議会じりつしえんきょうぎかいの地域課題ちいきかだいについて
- ・ 地域づくりちいきの実践報告じっせんほうこく
- ・ セルフプランについて
- ・ 体制加算たいせいかさんについて
- ・ 基幹相談支援センターきかんそうだんしえんの活動かつどうの実践報告じっせんほうこく
- ・ 基幹相談支援センター開設かいせつの実践報告じっせんほうこく